

稲作管理特報

令和元年 8月30日
 入善産米品質向上対策本部
 黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの適期刈取りについて

コシヒカリの出穂後の気温は平年よりかなり高く推移し、刈取適期は平年より早いと見込まれます。

今年は、出穂後10日間が多照高温となり急激な栄養供給によって胴割米になり易い形質になっています。このため、籾の黄化率が80%から90%の間に収穫を終えるように努めましょう。

1 水管理

(1) 刈取りの5～7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持と登熟向上に努めましょう。フェーンが予想される場合は、予め湛水しましょう。

2 クサネム(雑草)の抜取り

(1) クサネムなどの雑草種子は、調製で除去しにくく、製品に混入すると農産物検査で格落ちの要因となるので、事前に抜取りましょう。

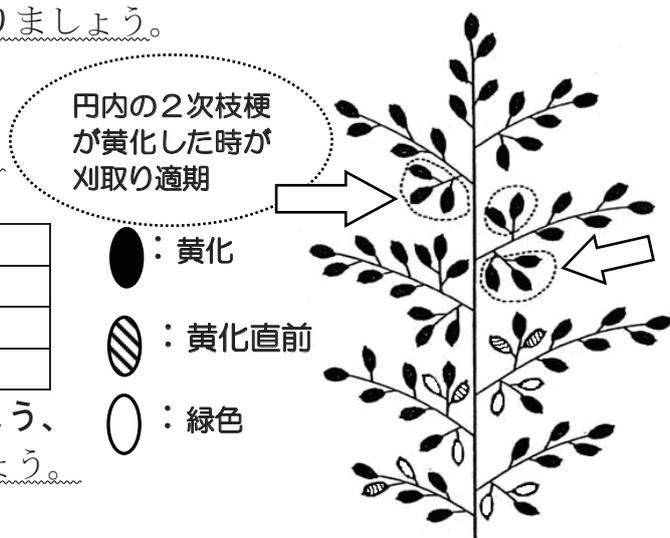
3 コシヒカリの刈取時期

(1) 籾の黄化率80%で刈取りましょう。

【刈取適期の目安】

出穂期	刈取適期
7月31日	9月5日頃
8月3日	9月8日頃
8月6日	9月12日頃

(2) 刈り遅れによる胴割米が発生しないよう、籾の黄化率が90%までに刈り終えましょう。



籾黄化率 80%

4 乾燥・玄米水分

(1) 胴割米の発生を防ぐため、乾燥速度は毎時0.6%以内を基本とし、初期の籾水分が高い場合(25%以上)や低い場合(20%未満)は、二段乾燥の実施や送風温度を下げるなど、特に丁寧な乾燥を行いましょう。

(2) 青米の混入程度により停止水分を設定しましょう。

【乾燥機停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	0～5粒	6～10粒	11粒以上
乾燥機停止後の水分変化	乾く(-0.5%)	変わらない	もどる(+0.5%)

(3) 玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。玄米水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに測定し、過乾燥米の発生を防止しましょう。

秋の農作業安全運動展開中 8月20日～10月20日
 ワラの詰まりはエンジンを止めて！補助者との合図や確認を心がける！